

相模川自然の村及び相模川自然の村野外体験教室指定管理者募集に関する質疑応答書

	資料名	ページ	質問内容	回 答
1	募集要項 -1-(8) -2 -2-(2)	1~7	本業務に対するニーズや目標はあるか。	<p>相模川自然の村は、相模川の豊かな自然環境の中で、市民に保養の場を提供し、市民の健康の増進及び観光の振興を図り、もって市民福祉の向上に寄与するための施設です。施設の設置目的や施策の達成度について客観的に評価するため、客室稼働率の向上（客室稼働数 / 稼働可能客室数 × 100%）を成果指標とし、今後の目標値として、86%を設定しています。</p> <p>相模川自然の村野外体験教室は、小学校、中学校等における教育活動としての体験学習及び集団宿泊生活を通して自然や人とふれあうことにより、児童生徒の創造性及び主体性を培い、豊かな心をはぐくむ教育の推進に寄与するための拠点施設であり、小・中学校等や青少年団体に利用されています。</p> <p>指定管理者は、質の高いサービスの提供に努めるとともに、市民が安心して利用できるよう管理運営を行ってください。</p> <p>詳細は、指定管理者募集要項 1 ページから 7 ページをご参照ください。</p>
2	資料1 評価票		今回の提案が市の戦略や計画にどのように貢献することが期待されているか。	<p>市では、当該施設における施設利用者サービスの向上や業務の効率化、経費の節減等を図ることを目的に指定管理者制度を導入しています。指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを施設利用者に提供するとともに、施設設置目的の達成と管理経費の節減が図られることを期待しています。</p> <p>また、選考にあたり、資料 1 の比重欄で「2」や「3」に設定している評価項目について、特に期待しています。</p>
3			利用者から施設に対するリクエストなどはあるか（よくある事例）	<p>相模川自然の村では、宿泊利用者にアンケートを取っており、食事の量の多少やメニューの内容についてご意見をいただくことがあります。</p> <p>相模川自然の村野外体験教室では、食事の量の多少についてのご意見をいただくことがあります。また、レストラン閉店後の夜間に軽食の販売などの要望をいただくことがあります。</p>
4			各メニューの売り上げ、購入者及び来客の詳細（新規 or 既存が多いか、性別・年齢・居住地・どのような利用が多いか）	<p>相模川自然の村の食事の売り上げ実績については、11月24日に追って更新しますので、別添 P D F ファイルをご参照ください。宿泊利用者の詳細としては、半数以上が利用回数 2 回以上、65 歳以上、市内在住の方です。静養・麻雀・家族親族の集まりでの利用が大半となっています。</p> <p>相模川自然の村野外体験教室の食料料金等実績（令和 2 年度から令和 4 年度まで）については、別添 P D F ファイルをご参照ください。教育施設としての位置づけから、相模原市内の小学校（5 年生）、中学校（1 年生）、義務教育学校などの児童・生徒が大半の利用となっています。市内小・中学校等の利用に支障がないと認められるときは、市外小中学校等や青少年団体などが利用しているほか、教育委員会の主催事業等に伴う施設利用者の来所があります。青少年団体については、市内の団体が多く、繰り返し利用していただいている団体が多い状況です。なお、その他の一般利用の受入れは行っていません。</p>
5	募集要項 -2-(3)-エ	19	現在、利用者の満足度・ニーズの把握の調査はどのように行っているか。	<p>相模川自然の村では、宿泊利用者に対しアンケートを実施しており、利用回数・利用目的・交通手段・食事について（味・盛り付け・量・提供時間）・接客対応・清掃・当施設を知ったきっかけ・今後の利用について・年代・その他感想・要望を項目としています。</p> <p>相模川自然の村野外体験教室では、利用団体に対しアンケートを実施しており、野外体験活動の内容や食堂利用（食事の量・味付け・値段等）を項目としています。</p> <p>積極的に利用者の意見を聴き、施設運営に反映していただきたいことから、令和 6 年度からの指定期間において指定管理者が実施する利用者の満足度・ニーズの調査方法などの具体的な手法や内容を記載してください。詳細は、指定管理者募集要項 19 ページをご参照ください。</p>

6			相模川自然の村の利用できる時間の欄に、客室、大広間、会議室の時間のみ記載されているが、他の娯楽室、カラオケ、浴場などの営業時間に指定はあるか。	娯楽室、カラオケ、浴場に営業時間の指定はありませんが、現在の営業時間は、娯楽室及びカラオケは１５：００～２３：００、浴場は１５：００～２３：４５、６：００～９：００となっています。事業計画書の「施設等の維持管理の計画・内容」の項目において、提案してください。
7			野外体験教室における成果指標の記載がないがそれはなぜか。また何か他に指標はあるか。	相模川自然の村野外体験教室は、小・中学校等の受入れから野外体験活動の対応まで教育委員会が行っていますので成果指標は設定していませんが、利用者満足度・ニーズ調査の結果等をモニタリングして評価します。
8			人員体制について、現在は原則相模川自然の村及び野外体験教室は２人以上となっているが、野外体験教室に関しては、常駐している市の職員の方を含めるのか。また、市の職員の方は２４時間施設にいらっしゃるのか。	人員体制には市職員は含めません。なお、相模川自然の村野外体験教室の職員は、学校等宿泊利用がない日は「午前８時３０分から午後５時１５分」の勤務、学校等宿泊利用がある日は「午前８時３０分から午後９時００分」の勤務となっています。
9			野外体験教室において利用料金収入がないのはなぜか。	相模川自然の村野外体験教室は、小・中学校等の受入れから野外体験活動の対応まで教育委員会が行っている教育施設です。このため、受入れ等についての裁量が指定管理者にないことから利用料金制を導入していません。詳細は相模原市立野外体験教室条例及び相模原市立野外体験教室条例施行規則をご参照ください。

令和5年11月22日

上記のとおり回答いたします。

相模原市長 本村 賢太郎（公印省略）